

どんなことでも
 いいことに変えていって
 やろうじゃないか
 障害児の母の
 ど根性

五行歌集『コケコッコの妻』を上
 梓しました！
 (3ページに紹介記事)



- ✦ 言いたい放題！アッキー28号 (50)
 予定変更大当たり！
- ✦ 五行歌集『コケコッコの妻』を上梓しました！
- ✦ STEMz マンガ文庫 蔵書紹介
 読書の秋に読みたい「大人向けマンガ」
- ✦ うたかた話 19 今昔物語(8)
- ✦ 今月の五行歌
- ✦ なんちゃって農業女子(笑) 7
- ✦ 作らずにはいられない ZOOM 専用キーボード
- ✦ イベント紹介 ✦ 編集局より/会計報告

「LIP編集局」

<https://love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降)



新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、大阪では4月末から緊急事態措置など外出自粛の要請が延々続く。

前の緊急事態措置の間私の住む町では市の施設が利用できなくなったが、今回は部屋の定員を二分の一にして感染予防に努めることで施設利用が可能となっている。

とはいえ、これまで盛んだった文化活動等は参加者に高齢者が多いこともあり、休会が続いたり、活動停止となったところも多いと聞く。この秋予定されていたフェスタも次々中止となった。

一寸先は闇。いつ感染するかわからない。常にそんな危機感を感じながら戦々恐々と生きていくような状態だ。しかし、案外それは本来私たちが置かれている状況が可視化されているということなのかもしれない。

「あたりまえ」は決してあたりまえではない。すぐにでも失われるかもしれない、そんな貴重な「今」を私たちは生きていく。予定変更いつでもOK、「こんなはずではなかった」ではなく、「んじや、これからどうしよう」と考える、気持ちの切り替えが大切なんだと思うこの頃だ。

たとえばこの間の金曜日。8月から私は金曜日は仕事が休みになり、この日は午前中内輪の学習会、午後は久しぶりの友人に用事があったて会うことにしていた。そしてその間の時間に『LIP』9月号を配る。結構タイトなスケジュールだ。上の子を通所先の送迎車で送り出し、雨上がりの晴天でたくさんさんの洗濯物を干すと、約束の時間に遅れそうになった。電車に乗って「10分遅刻、すみません」

言いたい放題! アッキー28号 (50)

予定変更大当たり!

とメールすると、すぐさま会のリーダーからLINE電話が入り、高齢の家族が体調を崩し急遽病院に付き添わないといけないなくなった、ごめんなさい、今日の集まりは中止にさせて、とのこと。

「お大事に」と言っただけで、どうしよう。2時間半がぼっかり空いちゃった。

とりあえず市役所のある駅で降りて、『LIP』を配ろう。駅から出るとふれあいホールの看板で今日から「手づくり絵本展」が開催だと思いついた。行こうと思ってたんだ、まずこれ、見て行こう。

開場時間ぴったりの10時。中に入ると、絵本作りをしている友人がちょうど会場にいた。コロナ禍で絵本展が開催できるか、ギリギリまで不安だったこと、新作絵本は蛇腹状の折り本にして、手に取らなくても立てた状態で見てもらえるようにしたことなど、2年ぶりに会う彼女から話を聞いて、作者の個性が豊かに花開く手作り絵本をゆっくり時間をかけて見ることができた。

午後2時に会う予定だった友人には電話して1時に会うことにしてもらった。それまでの時間に市役所など数か所に『LIP』を配布、そしてバスに乗ってJR高槻へ。友人はお昼をすませてくるので私は駅構内のサブウェイで野菜たっぷりのおしゃれなサンドイッチをぱくり。わあ、うれしい、何年ぶり。野菜をこぼして慌てっていると、「あ、ここにいた!」と友人が見つつけてくれた。「ん



めんごめん」いいよ、ゆっくり食べてね」会場の、コロナ禍起って以来だよね」

彼女に会った用事というのは、9月に自費出版した新書版の五行歌集を買ってもらったためだった。「すごいね、こんなに出したん?」

紙の絵は高槻の人の絵なんだよ」

その後彼女に案内されて翌日から営業再開で準備中という子連れOKのカフェに行き、元保育士のオーナーさんに紹介してもらい、お茶をこちそうになりお話しすることができた。商店街のなかの障害を持つ人が働いているリサイクルショップでお買い得品をいくつかゲットしてから、見晴らしのいい高架のベンチでたっぷりおしゃべり。帰りに福祉会館で『LIP』を配り、10月の親の会の部屋を取ることができた。

家に戻ると6時前。おお、なんといろいろ充実した日であったことか。もともとこの日は午前中NPO団体の会員向けに五行歌の話をして、午後は翌日のフェスタの準備をすることになっていた。でも、両方とも緊急事態措置で、延期や中止。その上また午前中の予定が飛んでしまったのだけれど、終わりよければ全てよしだ。

キャンセルになった学習会に参加予定であった人のうち一人がコロナで入院したと聞いたのは、その3日後のことだった。

(著者プロフィール) パート勤務の主婦。自閉症を持つ成人した息子がいます。
 // 放課後クラブ『チャレンジ・キッズ』代表
<https://ameblo.jp/challengekids81573/>

『LIP』2月号で、アッキー28号が予告しました 五行歌集『コケッコーの妻』を上梓しました！

五行で書けばOK、日々の思いをそのまま素の言葉で綴ればいいという、五行歌（ごぎょうか：五行で書く短い詩）の最近の自作をまとめて、市井社・そらまめ文庫より『コケッコーの妻』というタイトルで新書版の五行歌集をこのたび上梓することができました。

自分のこと、家族のこと、障害を持つ息子のこと、四季のうつろいや、テレビニュースで接する国内国外のニュースについて、大阪のおばちゃんおじちゃんの生態など、様々なテーマの作品を22の章立てでまとめています。

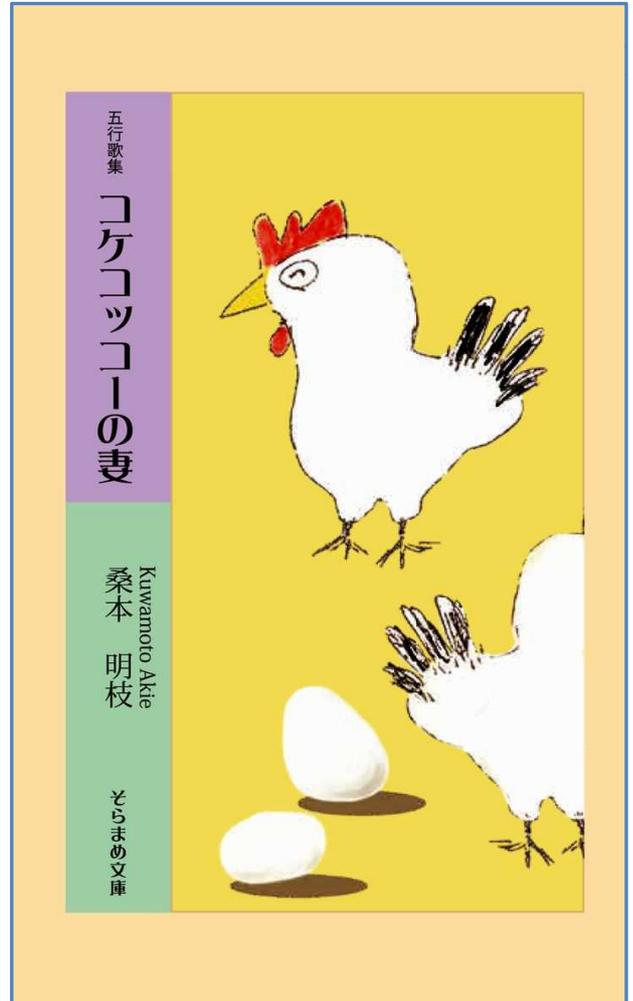
読んだ方からは、大阪弁ってまるやかですごい、複雑なことをさらっと日常の言葉で語れるのですね、五行歌というより貴女の生き方をなぞっているよう、などおおきな反響をいただいています。

こんなことを書いていいのか、そんな人とは思わなかったと、友だちを失うのでは……と危惧しながら、でもこれが私、忖度せずに自分を語ろうと思って出した、275首の作品は、おおむね好意を持って受け入れてもらえているようで、ほっとしているところです。

表紙の絵は、高槻市在住の梅田洋一さんの1993年酉年の年賀状の絵を使わせていただきました。2018年10月高槻の、ギャラリー・からころの個展で、年賀状を目にして一目ぼれ。「ぜひ表紙に使わせてください」とお願いして、雄鶏の絵の使用を快諾していただきました。「ジャケ買いしたいくらい」と好評です。

昭和半ばに生まれ、平成の時代に家族を構え、障害を持つ息子と共に、新しい世界を希求する、一人の女性の生きざまを、五行のうたに載せて一口味わってみていただければと思います。

五行歌というものに初めて触れる方にも、ぜひ読んでいただきたい歌集です。



五行歌集『コケッコーの妻』は、定価 880円。akkie.toyotaka@gmail.comにお申込みいただければ、送料込み1,000円で全国発送いたします。Amazonや書店からでも注文できます。

また、前作にあたる、電子書籍の五行歌自選小歌集『緑の星』は、コロナ禍の巣ごもり期間中無料配信されています。ぜひ併せてご購入ください。

(桑本明枝)

五行歌自選小歌集『緑の星』

はこちらからどうぞ →

または

<https://love-dugong.net/books/>



STEMz マンガ文庫 蔵書紹介 読書の秋に読みたい「大人向けマンガ」

蝉の鳴き声が聞こえなくなったと思ったら、いつの間にか鈴虫の鳴く声が聞こえ始め、夜の月が綺麗に見える、そんな季節になりましたね。今回は「読書の秋」に読みたい近くの図書館にもきつとある「大人向けマンガ」をご紹介します。

◆舟を編む 上下巻◆

原作:三浦しをん 漫画:雲田はるこ



新しい辞書の編纂(へんさん)に取り組む新米編集者の青年が、個性豊かな編集部員たちと織り成す人間模様と、板前を目指す下宿先の孫娘との恋の行方をユーモラスかつハートウォーミングに綴られた作品です。

「人をつなぐ——言葉を編む」

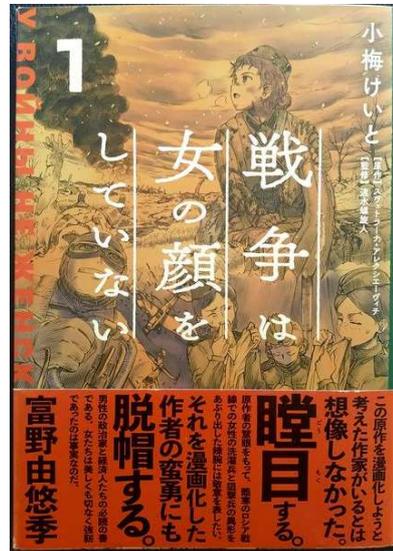
伝わらない言葉、伝えられない想い。そんな不器用な人たちの物語。

原作は小説で、映画化もした作品なので、タイトルを聞いたことがある方も多いのではないのでしょうか？

空気の読めない青年が愚直に辞書の編纂という地味で苦勞の多い仕事に向き合うのですが、言葉の持つ意味や、収録する言葉を変遷の度に少しずつ変えていることに驚きました。丁寧にそしてニュートラルに「日本語」に向き合う様子から、辞書作りには主観を極力排除した「時代」や「文化」が詰まっているんだと思いました。何気なく使っている言葉の持つ意味を、もう一度じっくり味わいながら再確認したくなるそんな作品です。

◆戦争は女の顔をしていない◆

原作:スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ
漫画:小梅 けいと 全2巻 蔵書は1巻



ソ連では第二次世界大戦で百万人をこえる女性に従軍し、看護婦や軍医としてのみならず兵士として武器を手にして戦っていました。しかし戦後は世間から白い目で見られ、みずからの戦争体験をひた隠

しにしなければならなかった。

本作品は、五百人以上の従軍女性から聞き取りをおこない戦争の真実を明らかにした、ノーベル文学賞受賞作家のデビュー作のコミカライズです。

同じ戦争を違う国で体験した女性たちの軌跡。ソ連で戦争に参加した女性たちは男性と同じ仕事に従事していました。機関士、飛行士、弾丸の飛び交う地上戦で、砲兵隊としての狙撃手、17歳の少女までが兵士として戦場に出ていました。

初めてドイツ兵を狙撃した少女が語ります。

「初めての時はとっても怖かった
私は引き金を引き、そいつは倒れた
この人のことを全く何も知らないのに
殺しちゃった

しばらくしてそういう気持ちはなくなった」

戦争に参加した女性たちは、徴兵されたわけではなく、自ら志願し戦場へ赴いたと言うから驚きです。愛国心と教育、そして男女同権を謳う社会主義思想の影響があったとされています。

思想が文化をつくり、人と成す。全く想像もできない異国の地での戦争体験が教えてくれることに、戦争の見方が変わる一冊となっています。

(みんなで作る学童STEMs そふえ)

[STEMz マンガ文庫で検索！]

前回は初めて鞍馬寺を建てたお話をしましたが、今回から『今昔物語集』の初めに掲載されている『天竺・震旦』のお話をしたいと思えます。『今昔物語集』の『天竺・震旦』の最初のお話と云えば、

巻第一 天竺は『釈迦如来、人界に宿り給へる語 第一』です。

これは中国の古いお話しですが、皆様もよくご存じの中国史に出てくる随や唐の仏教に関係したお話になります。

まず秦の始皇帝から始めたいと思えます。

『今昔物語集』「巻第十 震旦付国史 秦の始皇、感揚宮に在りて世を政てる語 第一」に始皇帝の話が載っています。

始皇帝は『今昔物語』に依れば初めて感揚宮という宮を作りて都城としました。その宮の東に“関”を造り、櫃の狭間の様な所から函谷関と云われる様に成りました。中国で初めて国家を統一した所から自分から始皇帝と名乗りましたが、氏名は嬴政、趙政と言われています。在位は紀元前247年～紀元前210年の37年ですが、自分の心に違えると直ぐ、手を切り、足を切るなどは朝飯前で首を切られた者も多く居ます。彼の業績では重臣の李斯等と共に経済や政治の改革を実行しました。

改革の主たる事は

- 1) 地方統治では封建制から郡県制への移行
- 2) 万里の長城の整備
- 3) 国家単位での貨幣や計量単位の統一
- 4) 秦始皇帝陵の造営、其処に現在発掘されている兵馬俑を作成しました
- 5) 法家による統治を敷き、批判する儒者・方士の弾圧や書物の規制を行いました。これを焚書坑儒と云いますがこれも彼が行った事です。

要するに彼は独裁者であり、自分の気に入らなければ必ず滅ぼすという事だと思えます。彼

の独裁は歴史上珍しく歴史にその名を大きく刻んでいます。そして彼が最後に臨んだのは「不老不死」です、後日井戸の底から発見されて木管には不老の薬を求める物が多くありました。次に記したいのは彼が死を迎えた時、後世に残した墓の(日本では古墳ですが)の兵馬俑と焚書坑儒と不老不死の薬の三点です。

★) 兵馬俑……最近になって発見された始皇帝の時代の陶器による軍隊の形の副葬品です。これは判りやすく云えば我が国で云う所の古墳の副葬品(実物大の埴輪)と云っても過言ではありません。しかしその数たるや日本と

比較する事が出来ません。

それが破壊される事も無く実物大の儘発掘されています。

★) 焚書坑儒……これは自分の気に入らない書物を総て焼き尽くしたという事です。この時には460人余りの儒者が生き埋めとなり(坑儒)、市中に流れていた儒書が総て焼き尽く(焚書)されました。

★) 不老不死の薬……海の向こうに不老・不死の薬があるという事で、大海に多くの人を乗せた船を出航させた事もあります。色々な話が作られ、多くのは話が造られていますのも彼の特徴だと思えます。

最後の彼の死についてのお話をしますと、彼が死んだ時死臭がしますので同じ様な匂いのする魚を多く積んだ車を共に走る事をして匂いを消したという事です。このお話は日本にもあります

今回も岩波書店発行の『今昔物語集』と「PCのWIKIPEDIA」のお世話になりました。

✍ 小田川徳男

うたかた話 (19) 今昔物語 (8)

LIPが選ぶ

今月の五行歌

2回目小学校

梶千栄子

久々の

皆の笑顔

勉強よりも

みんなが好き

朝刊を手に

都鳥

今朝は十五輪

軒のすだれ

かざる朝顔

来年も

ときどき生えてくる

さなぎ

私の角が

金平糖のように

甘くてきれいで

丸かったらしいな

五行歌（ごぎょうか）とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度歌会を行っています。今回は、2回目の小学校とのコラボで作品をお届けします。

（連絡先：akkie.toyotaka@gmail.com

または 090-5893-5635・豊高）

No.7

なんちゃって農業女子(笑)

前回掲載した「さつま芋の花」ですが、「初めて見させて頂きました。」とのお声をあちこちからいただき、「野菜の花」は「初」の人が多いかも？って、うれしく思いました。

そこで、今回も花の写真を掲載し「これは何の花でしょうか？」とクイズにしようかと思いましたが……この野菜の花は、写真では分かりにくいので花の写真はやめます。

今回のネタは「赤紫蘇」です。うちの畑の赤紫蘇に今年も花が咲きました。この赤紫蘇は、去年のこぼれ種から発芽して成長した紫蘇たちで、育てるのは超簡単な割に、とても体に良い効能が沢山ありますので、興味がある方はぜひ育ててください。種はこれから恐ろしいほど取れますので、必要な方はご連絡ください。（LIP編集局あて）

紫蘇には「青しそ」と「赤しそ」と二種類あり、青しそは、大葉とも言いご存知の方も多く料理の脇役として香り付けや彩りや薬味として幅広く利用される葉野菜です。「ポリフ

ェノール」といって活性酸素を抑制する効果があります。赤しそには、ポリフェノールの他に「アントシアニン」と言う抗酸化作用があり、特に「眼精疲労」を軽減する効能に優れていると言われています。一般的に梅干しに赤色をつける為に使うのが赤しそです。

その鮮やかな赤色を煮出して作った「シソジュース」は、夏場の疲労回復ドリンクにもって

こいで、以前は市販の赤紫蘇を購入してまで作りました。ここ3年は自分で育てているので「無農薬の赤紫蘇ジュース」作り放題です。手作りのシソジュースはめっちゃおいしいです。梅干しにもしそ入れ放題（笑）

今年友達に収穫に来てもらい持ち帰ってもらうくらい豊作でした。ほぼ放置プレイで育ちます。花も食べられるし、今からの季節は「穂」が収穫でき佃煮やふりかけにします。収穫しそびれたら「種」として取っておきます。欲しい方、お分けいたしますよお～(^^♪

（文・写真 へそくん）



イベント・サークル・ボランティア情報

「みんなといっしょに高校へ行きたい」

知的障害者を普通高校へ北河内連絡会定例会のご案内

今年の受験は、どうしようか？
コロナ禍で、子どもは、こんな風になっているけど、どう考えたらいいの？
などなど、身近なこと、迷っていることなど、出し合って話し合いませんか。

○とき：2021年10月31日(日曜)
午後1:30~4:30

○ところ：交野市青年の家・敷地内の学びの館1階1号室
電話：072-892-7721
京阪交野線交野市駅下車 徒歩10分

○内容：①2学期の子ども達は・・・近況交換
②今年度の高校受験、今後の高校進学、高校生活
③高校卒業後の若者の生活と課題
④「医療的ケア」の要る子ども達の学校生活、今の暮らし
⑤何でも自由に～

○ZOOM参加も可です(無料) 希望される方は、松森迄連絡を。(10月24日までに) matumori@crux.ocn.ne.jp
○主催：知的障害者を普通高校へ北河内連絡会
○連絡先 松森：090-1960-3469 関山：090-2599-6162

「SDGs de 地方創生」カードゲーム体験会
～「持続可能な未来社会」をゲームで体感しませんか?～

■日時 10/17(日)14時~16時半
■会場 サプリ村野 南館2階 市民活動研修室
■講師
SDGs de 地方創生ゲーム公認ファシリテーター 中野ともみ
■主催者および連絡先
ひらかた市民活動支援センター
電話：072-805-3537 FAX:072-805-3532
Eメール：info@hirakatanpo-c.net

■参加費用 無料
■先着10名 小学5年生以上 大人も大歓迎
■申込方法
・QRコードから



・URL ↓↓↓
<https://forms.gle/ER7wSxekjztw2BEN9>

※新型コロナウイルス感染症の状況により、中止または延期等の対応とする場合があります。

【参加者募集】 放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」

情報交換・交流会

子どものことで、迷ったときに相談したり、悩みを打ち明けられる場があればいいなあ……。そんな思いで集っています。支援者を交えて、気楽におしゃべり情報交換しませんか。

日時：10月29日(金) 10時30分~12時30分
(遅刻早退OK、出入り自由)

場所：ラポールひらかた4階研修室4

参加費：無料

問合せ：c-k@love-dugong.net または、
090-5893-5635 (16時以降 豊高)

下記ブログにて、随時情報を掲載しています。
<http://ameblo.jp/challengekids81573/>
(「チャレンジ・キッズ」「アメブロ」で検索してください)

【枚方自閉症児(者)親の会】

お母さん、一人で悩んでいませんか？ 障害があってもなくても、みんなと一緒に成長していきましょう。
おじいちゃん、おばあちゃんも歓迎です。

◆日時：10月25日(月) 10時~12時

◆日時：11月15日(月) 10時~12時

◆場所：ラポールひらかた 4階共用ルーム

※連絡先 松崎 072-845-3014 さんなみ 072-868-9929



● 新型コロナウイルス感染防止のために、催しが中止・延期になる可能性があります。主催者にお問い合わせください。●

シリーズ『作らずにはいられない』(20) ZOOM 専用キーボード

コロナ禍ですっかりおなじみになってきたビデオ会議。

慣れると電話のようなもので、特に構えることもなく使えるようになってきている。ずいぶん普及してきて、使用者も増えているような。

ただ、わたしには気に入らないことがある。ビデオ会議に参加していて、急に呼びかけられたりしたときに、とっさにマイクをONにしたりする操作ができず、あたふたしてしまったり、音量調整するのにいちいちマウスを握ったり、とかく操作がめんどうなことだ。電話なら、めんどうな操作も無く自然に使えるのだが。

そもそも多人数で会話をしているだけなのに、画面をクリックしたりしたくない。なぜなら、画面をクリックするためには、「マウスを持つ」「画面の中からクリックしたいボタンの場所を探す」「マウスカーソルをそのボタンの場所へ持っていく」「間違えないように確実にそのボタンをクリックする」という、複雑かつ集中力を要する動作を求められる。

そんな複雑な動作を行っているうちに、喋りたかった内容もどこかへ行ってしまうこともある。

手元に「発言」ボタンが一個あれば解決するのに。こんな風に思いつくと、わたしは作らずにはいられない。

そこで『ZOOM 専用キーボード』を作ってみた。ハードウェアは単純明快。マイコン1つ。スイッチ数個。これをハンダ付けして接続しただけ。あとはソフトウェア任せ。マイコンにソフトウェアを書き込み、パソコンを操作させる。

マイクON/OFFだけでももったいないので、他の操作も付けてみた。

これなら、いちいちマウスに触ったりせずに、ボタンを押すだけでZOOMを操作できる。

最近のIoTブームのおかげか、マイコンも小さく安価になっている。

自分で使っているだけでは惜しくなって、数個作って、使いそうな知り合いに送りつけ、モニターしてもらうことにした。自分で使ってるだけではわからない、不具合や使いにくさを教えてもらえるかもしれない。

(わたなべ)

作った作品はコレ⇒
使用マイコン：Seeeduino XIAO

応援よろしくお願ひします♪

L I P 応援団

L I P 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
22,797	前号から繰り越し
▼420	郵送代
▼500	ロッカー代
▼3,480	9月号印刷代
18,397	計(次号へ繰り越し)

■L I Pの仲間である桑本さんの五行歌集が上梓され、本文でも紹介しています。桑本さんの作品も含め、L I Pで連載してきた作品を電子書籍にして一部公開しています。スマホでも読めるので、ぜひどうぞ。



QRコードまたは
<https://love-dugong.net/books/>
から読めます。

■L I Pは、市民が書き、市民が読む地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか♪

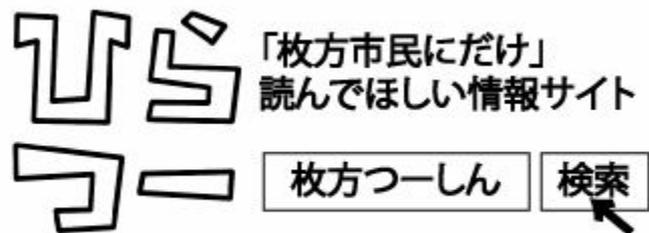


イラスト 表紙、p7：平井由恵

